

不登校や薬物依存、ニート…

不登校や引きこもり、ニート、薬物依存など、さまざまな悩みを抱えた青少年の自立支援活動をしている宮城、山形、福島県の NPO 法人 3 団体が 26 日から、「青少年自立支援・南東北連携フォーラム」を各県で相次いで開催する。南東北ではこれまで、自立支援施設間の連携が十分ではなかったといい、多様なニーズに対応して連携を強化することにした。

3 県 NPO が企画

26 日からフォーラム

ティールサポート A いうつみね健康学園(郡山市)。東北三県では、自立支援後一時半(四時半)。三団体の代表者がそれぞれ約三十分ずつ講演。施設や親の会のネットワークが構築されている。▽5月11日(郡山市)▽5月18日(仙台市市民会館)

フォーラムを共同で開いて報告。不登校、薬物依存するのはミヤギユースセンター(仙台市)、東北には何が大切かなどを訴える。この後、各団体の蔵王(こいの里)上山スタッフも加わり、来場者(ヒューマンコミュニケーター)の相談にも応じる。5. 開催日、会場は次の

青少年自立支援 南東北でも連携

蔵王(こいの里)の岩川耕治理事長は「本人や家族だけで悩みを抱え込んでしまつと、泥沼に入つたまま解決策をなかなか探せない。身内だけで何とかしようと思わず、フォーラムに参加して気軽に相談してほしい」と来場者と呼び掛けている。

館で記者会見し「上映中止や政治圧力に抗議する」などと訴えた。靖国を撮影した李鏗(リイ)監督も出席し、有村治子参院議員が「靖国刀」を作り続ける出演者の刀匠から事情を聴き「出演シーンの削除を希望した」と主張していることに「作品が成立できないよう働き掛けている

信じている」と述べた。ジャーナリスト田原総一朗さんは「隠し撮りせず正面から撮影していい。偏向とか反日と決め付けるのは間違いだ」と内容を評価。上映中止については「映画館の親会社が問題になっては困ると考えた。そういう日本社会を責めるべき

たいものを見る権利が奪われている」と指摘。「靖国」に文化庁の所管法人から助成金が出ている点を国会議員が問題視していることについて、映画監督の是枝裕和さんは「第三者機関で審査する助成金の使い道に、税金のチェックだと言つて政治家が口を挟むのはおかしい」と話した。

農協によると、女性は組合員の貯金口座から、肥料などの購入代金を組合の口座に振り替える業務を担当。二〇〇六年十一月から今年四月まで、三百八十二回にわたつて不正に現金を引き落とし私的に保管。借金返済や生活費に流用していた。四日に組合員から肥料

宮城交通(仙台市泉区)が乗務員の飲酒規制を強化した労使協定を、協定締結前の行為に適用し懲戒処分にしたのは違法だと、同社の五十歳と四十歳の運転手の男性二人が処分の取り消しなどを

城戒 宮懲

仙台「飲酒規制すでに周知」

求めた訴訟の控訴審判決。判決によると、二人は二〇〇四年三月と六月、それぞれ仙台市から千葉と大阪府まで高速バスを運転。一人は千葉で酒を飲み、約十時間眠つた後、午後八時に帰路のバスを運転。もう一人は大阪で酒を飲み、約七時間半眠つた後、午後七時に復路のバスを運転した。同社は〇五年三月、行き先地での飲酒を禁じた協定を労組と締結し、同年十一月、協定違反を理由に二人を休職三日の懲戒

意欲作に鋭い視線

河北美術展 審査始まる

二十五日に開幕する第七十二回河北美術展(河北新報社、河北文化事業団主催、特別協賛・JAL)の作品審査が十日、仙台市青葉区の市青葉体育館で始まった。今回の応募数は日本画百五十三点、洋画九百七十四点、彫刻三十五点の三部門合わせて千六百六十二点。このうち洋画、彫刻の審査が行われ、洋画は中山忠彦、島田鮎子、藪野健の三氏、彫刻は能島征二氏が担当した。各審査員は一点ずつ作品をチェック。「まじめな作風に好感が持てる」



話し合いながら秀作を見極めた洋画部門の審査—仙台市青葉体育館